

在宅避難時の心得、知っていますか？

①大地震発生時には、水を流さないでください。

地震により、マンション内の排水管が壊れている可能性があります。もし、壊れているのにトイレや台所などから水を流すと、低層階で水が漏れ、大きな迷惑になる可能性があります。排水管が壊れていないことが確認できた場合、掲示でお知らせするので、それまで、水を流すのはやめましょう。



②エレベーターには乗らないでください。

エレベーターが動いていても、余震などにより再び停止し閉じ込め被害にあう可能性があるため、エレベーターには乗らずに階段を使ってください。エレベーターが使えるようになった場合は、掲示でお知らせします。



③ゴミは自宅に保管してください。

ごみの収集はしばらく停止となる可能性があるため、使用済みの携帯トイレなどのごみは当面の間、各戸のベランダなどで保管してください。ごみの収集が再開されたり、臨時の共用ゴミ置場を設置した場合は、掲示によりお知らせします。



④避難する際、連絡先を管理者等に伝えてください。

近所の人などが心配するほか、緊急修理の実施に支障をきたす可能性があります。避難などのため長期間留守にする場合は、ブレーカーを落とし、ガス、水道の元栓を閉めたうえで、連絡先を管理組合、管理員などに伝えましょう。



⑤災害対応に協力してください。

マンションの応急対策としてやるべきことはたくさんあります。居住者の方は可能な限り協力をお願いします。特に次のような知識や技術などを持つ人は積極的な協力をお願いします。

- ・ 建築、設備などの技術者
- ・ 水を高層階に運ぶなど、体力に自信がある人
- ・ 手話や外国語ができる人
- ・ 子どもの世話、お年寄りのサポートができる人

